

令和7年度（2025年度）

① 事後評価分析

（車両安全対策による削減目標の達成状況の評価分析）

分析結果

調査実施内容の骨子

- 交通安全基本計画及び交政審報告書における交通事故削減目標の達成に向けて、車両安全対策による交通事故死者数および重傷者数の削減状況を把握するため事後評価を実施する。

2

参考：交通政策審議会自動車部会報告書

交通政策審議会陸上分科会自動車部会報告書「交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について」（令和3年6月：以下「交政審報告書」という）において、**車両安全対策による交通事故死者数および重傷者数の低減目標及び今後取り組むべき車両の安全対策**が示された。

《目標》

車両安全対策により2030年までに2020年比で、

- 30日以内交通事故死者数1,200人削減
- 重傷者数11,000人削減

《重点項目》

- ① 歩行者・自転車等利用者の安全確保 ② 自動車乗員の安全確保
- ③ 社会的背景を踏まえて重視すべき重大事故の防止 ④ 自動運転関連技術の活用・適正利用促進

本年度の事後評価実施概要

第1回車両安全対策
検討会で審議済み

概要

- 交通事故削減目標の達成に向け、車両安全対策による交通事故死者数および重傷者数の削減目標に対する達成状況を把握するため、各装置の事故削減効果を評価する。

評価対象

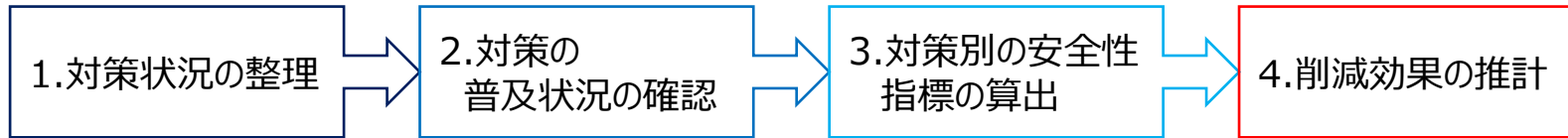
基準化された対策： 前回（2020年度）の事後評価の基準年（2010年）以降に基準の新規開始、適用車種拡大または基準強化が進んだ対策※を評価対象とする。 ※サイバーセキュリティ関連等、マクロデータで対象事故の抽出が困難と考えられるものを除く。

基準以外の対策： 前回（2020年度）の事後評価の基準年（2010年）以降に、アセスメントが開始された対策※を評価対象とする。
※後述の型式調査から装置の有無を判別できない装置、かつマクロデータで対象事故の抽出が困難と考えられるものを除く。

安全対策			開始年
基準化された安全対策	衝突安全	前面衝突基準[フルラップ、オフセット]	基準開始：1994年(フルラップ)、直近の基準強化：2023年(フルラップ、オフセット)
		側面衝突基準	基準開始：1998年、直近の車種拡大：2024年
		歩行者保護基準[頭部、脚部]	基準開始：2005年(頭部)、直近の基準強化：2024年(頭部)
	予防安全	アンチロックブレーキ[四輪車、二輪車](ABS)	基準開始：1991年(四輪車)、直近の車種拡大：2021年(二輪車)
		横滑り防止装置(ESC)	基準開始：2012年、直近の車種拡大：2018年
		車両安定性制御装置(EVSC)	基準開始：2014年、直近の車種拡大：2021年
		衝突被害軽減ブレーキ[大型車](大型AEBS)	基準開始：2014年、直近の車種拡大：2021年
		衝突被害軽減ブレーキ[乗用車](乗用AEBS)*	基準開始：2021年、直近の基準強化：2024年
		車線逸脱警報装置[大型車](大型LDWS)	基準開始：2017年、直近の車種拡大：2021年
		オートライト	基準開始：2020年、直近の車種拡大：2023年
		後退時車両直後確認装置(バックカメラ)	基準開始：2022年、直近の車種拡大：2024年
		側方衝突警報(BSIS)	基準開始：2022年、直近の車種拡大：2024年
基準以外の安全対策	予防安全	車線逸脱警報装置[乗用車](乗用LDWS)	アセスメント開始：2014年度
		衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対歩行者(夜間)](乗用AEBS[対歩行者、夜間])	アセスメント開始：2018年度
		高機能前照灯	アセスメント開始：2018年度
		ペダル踏み間違い時加速抑制装置(ACPE)	アセスメント開始：2018年度
		衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、交差点](乗用AEBS[交差点])	アセスメント開始：2024年度

*シーン別(対車両、対歩行者、対自転車)に分析を行う。

事後評価分析は、ITARDA交通事故統合データベースを使用し、以下の手順で分析する。



1. 対策状況の整理

- － 対策の有無を群分けして整理
 - ・ 対策されているもの
 - ・ 対策されていないもの
 - ・ 分類が困難なもの

2. 対策の普及状況の確認

- － 保有台数統計から、対策別の普及率を算出

3. 対策別の安全性指標の算出

- － 事故データより対策別の安全性指標（致死率、保有台数あたりの事故件数）を算出

4. 削減効果の推計

- － 評価年(2024年)の対策別の保有台数構成が評価対象年（2020年）と同等であったと仮定した場合の死者数・重傷者数と、実際の死者数・重傷者数の差分から削減効果を推計

	対策状況の整理		安全性指標	
	基準化された対策	基準以外の対策	基準化された対策	基準以外の対策
衝突安全対策	基準適用時期および車両の 初度登録年月を用いて整理	車両型式情報を用いて整理	対策別の「死亡率、重傷率」	
予防安全対策			対策別の「保有台数あたりの事故件数」	

基準化された対策の事後評価方法(例)

第1回車両安全対策
検討会で審議済み

1. 基準策定・施行
状況の整理



2. 普及状況の確認



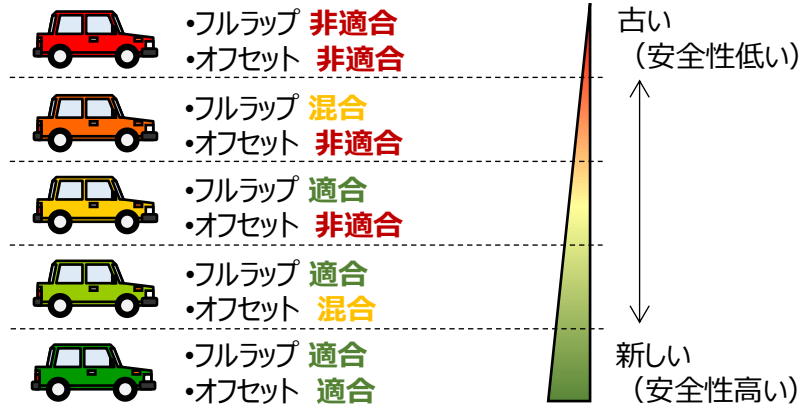
3. 適合区分別の
安全性指標の確認



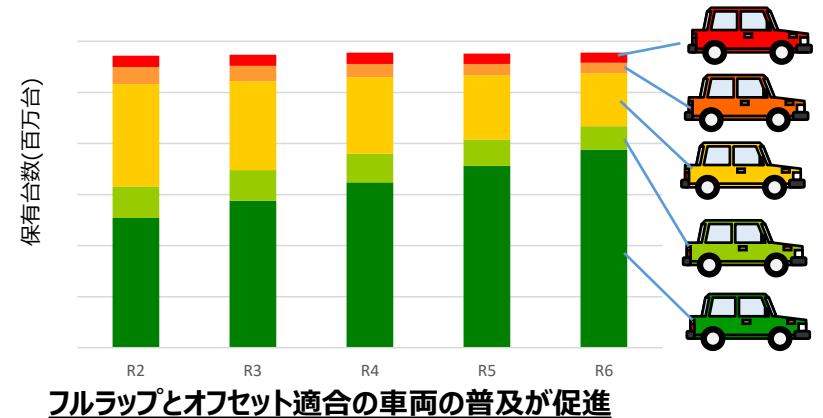
4. 削減効果の推計

※「フルラップ・オフセット前面衝突基準」の評価手順を例示

1. 基準策定・施行状況の整理

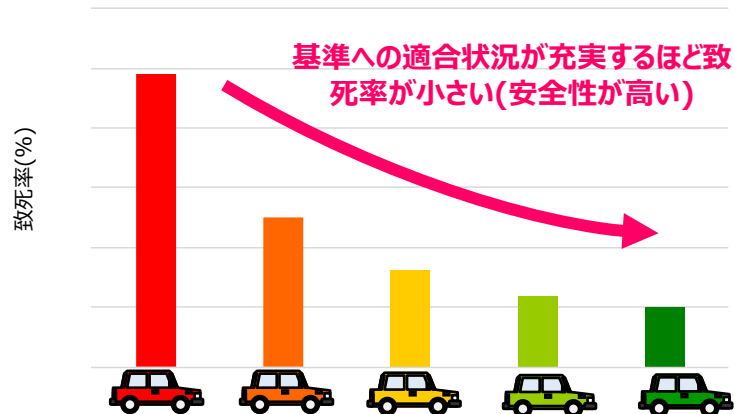


2. 普及状況の確認



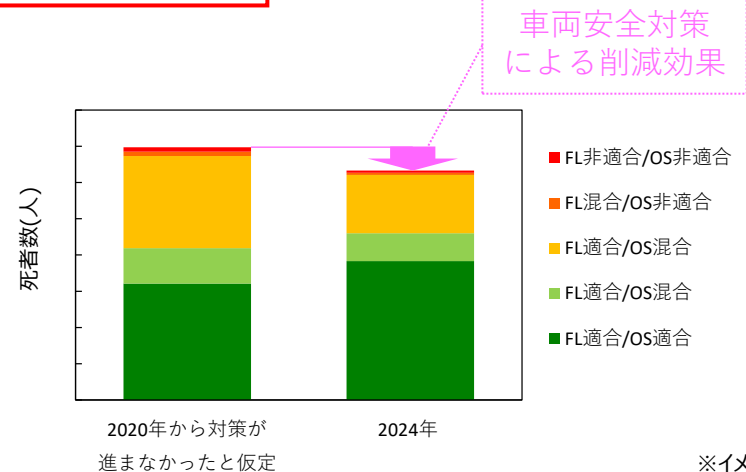
※イメージ

3. 適合区分別の安全性指標の確認



※イメージ

4. 削減効果の推計



※イメージ

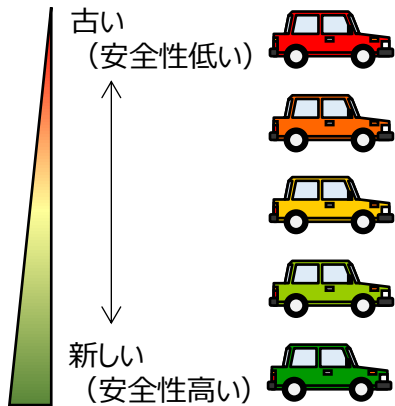
基準化された対策の分類方法（例）

第1回車両安全対策
検討会で審議済み

概要

- 基準適用時期および車両の初度登録年月を用いて適合状況を整理する。

「前面衝突基準」の例



適合状況	期間	フルラップ基準	オフセット基準
フルラップ 非適合 オフセット 非適合	平成6年3月以前	新型車適用前	新型車適用前
フルラップ 混合 オフセット 非適合	平成6年4月以降 平成11年3月以前	新型車適用後 輸入車適用前	新型車適用前
フルラップ 適合 オフセット 非適合	平成11年4月以降 平成19年8月以前	輸入車適用後	新型車適用前
フルラップ 適合 オフセット 混合	平成19年9月以降 平成21年8月以前	輸入車適用後	新型車適用後 継続生産車適用前
フルラップ 適合 オフセット 適合	平成21年9月以降	輸入車適用後	継続生産車適用後

+

「車両の初度登録年月」

により適合・非適合・混合車群を分類

例えば、

平成6年3月以前に初度登録された車両 → フルラップ：**非適合**、オフセット：**非適合**



平成21年1月に初度登録された車両 → フルラップ：**適合**、オフセット：**混合**



基準以外の対策の事後評価方法（例）

第1回車両安全対策
検討会で審議済み

1. 装備状況の整理



2. 普及状況の確認



3. 装備状況別の
安全性指標の確認



4. 削減効果の推計

※「乗用LDW」の評価手順を例示

1. 装備状況の整理



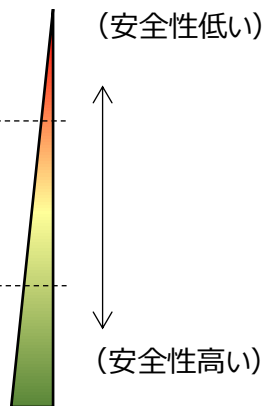
・LDW非装備



・LDWオプション装備

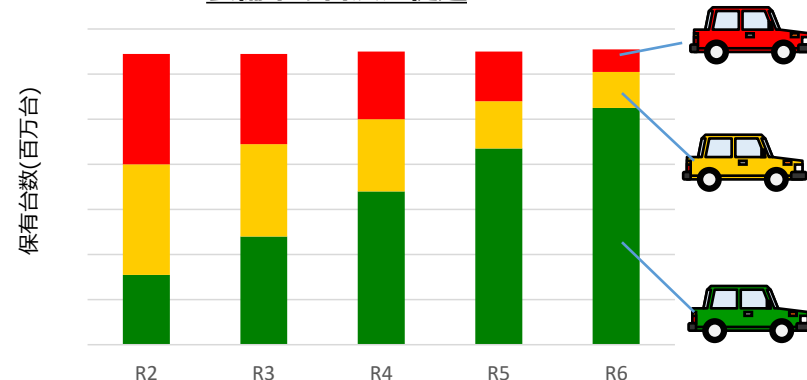


・LDW標準装備



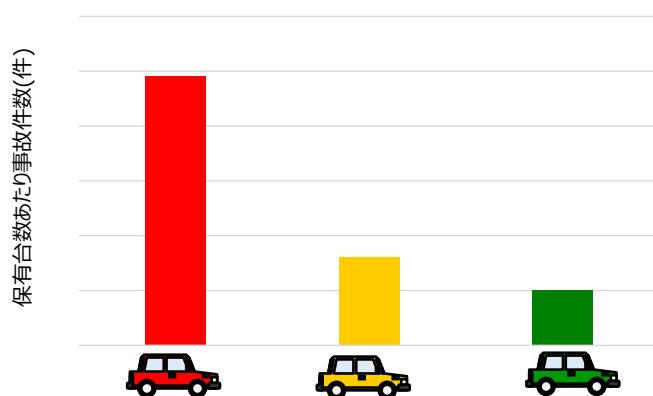
2. 普及状況の確認

装備車の普及が促進



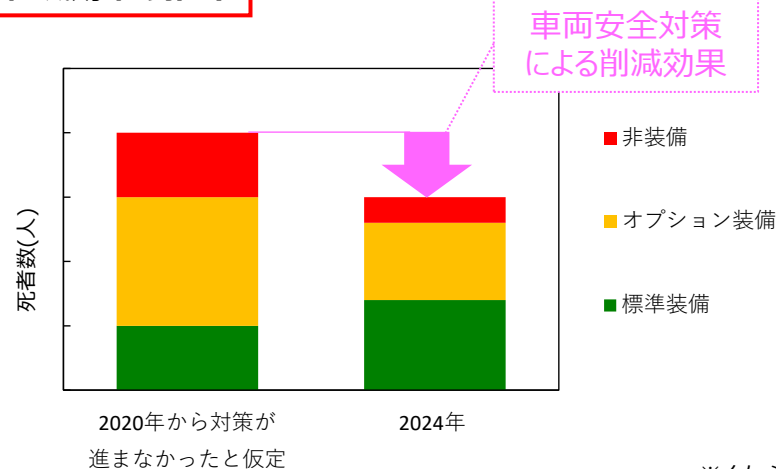
※イメージ

3. 装備状況別の安全性指標の確認



※イメージ

4. 削減効果の推計



※イメージ

基準以外の対策の分類方法（例）

第1回車両安全対策
検討会で審議済み

概要

- NASVAが公表している安全装置の装備状況一覧(～2023年12月末)※と、各社のカタログ情報等を用いて型式と装備状況を整理する。

※調査対象車種は、普通・小型乗用車や軽自動車及びライトバン(車両総重量 2.8t以下) の貨物自動車

安全装置の装備状況一覧（NASVA）

車名	装備状況			
	LDW	高機能前照灯	ペダル踏み間違い 時加速抑制装置	AEBS
A	◎	◎	◎	◎
B	○	◎	×	◎
C	×	×	×	◎

◎ : 標準装備のもの
○ : オプションで装備可能なもの、または一部グレードで装備しているもの
× : 設定がないもの

カタログ情報等

車名	車型	型式	販売期間
A	乗用	A-1XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
	乗用	A-2XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
B	軽乗用	B-1XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
	軽乗用	B-2XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
C	軽貨物	C-1XXX-000	20XX年X月～20XX年X月

統合

型式ごとに標準装備群・オプション装備群を抽出・分類

標準装備(◎)群（型式数=X,XXX）

車名	型式	初度登録年月
A	A-1XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
A	A-2XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
...	...	...
...	...	...

オプション装備(○)群（型式数=X,XXX）

車名	型式	初度登録年月
B	B-1XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
B	B-2XXX-000	20XX年X月～20XX年X月
...	...	...
...	...	...

※非装備群の事故数・保有台数等については、分析対象車種全数から標準装備群とオプション装備群を引くことで算出

分類をもとに、事後評価分析を実施

第1回車両安全対策検討会でのご意見、第2回車両安全対策検討会での実施事項

第1回車両安全対策検討会でのご意見

番号	委員からのご意見	回答と今後の方針
1	「装置間の集計条件の包含関係を基に」とは、集計条件をもとにそれぞれの分類の中でまとめた関係と理解してよろしいか。	例えば一当・二当の車の関係性や衝突形態などの比較を基に、前面衝突基準の対象事故であれば、乗用AEBSやFUPの対象突事故がその一部に含まれるのではないかなど、マクロ事故データの集計条件の包含関係を踏まえて整理を行っています。
2	「交通事故死者数の推移」を見ると第11次交通安全基本計画にかかるところでは以前と傾向が異なり頭打ちになっている。第10次計画までは安全基準や救急医療体制などの交通安全対策が効果的であったが、近年は高齢化の進展や外国人の増加などの社会経済情勢の変化が複合的に影響しているとの指摘があることから多面的に分析を掘り下げていく必要があるのではないか。	昨年度の基準化による効果を見る限りは、車両安全対策による事故の削減効果が一定程度見られるが、高齢化や経済情勢の変化など様々な影響を受けている可能性はあり、こうした点は今後の分析課題の一つと考えられます。10次までと11次計画期間のカーブの変化について、詳細な分析は現時点ではできていないが、交政審報告書の見直しの中で効果的な車両安全対策の今後のあり方についても考えていく予定です。
3	死者削減数が全体の削減目標からみてどのような位置づけにあるか。	お示ししたのは結果であり、位置づけについては、交政審で議論していくことになるかと思います。
4	オプション装備の普及率はどのように把握しているのか。	分析では、「オプション装備」を「装備状況が非装備と標準装備が混在している群」としています。
5	2020年度から死者数が横ばいになっているデータがあるが、コロナで医療機関がひっ迫した影響が考えられる。重傷者数もあまり減っていないことから、2020年から2023年頃までは病院での対応が難しかった面もあろうかと思われるので、「取組みが効いていない」との批判を受けないためにもそれらの影響は踏まえていただいたほうがよい。	交政審の議論の中ではそういったことも踏まえて考えていきたいと思っています。

第2回車両安全対策検討会での実施事項

- ・ 基準化された対策の削減効果(評価年を2024年にアップデート)
- ・ 基準以外の対策の削減効果

調査対象装備と集計条件(基準-衝突、予防)

装備名		事故類型	主な対象事故条件
前面衝突基準		車両相互・車両単独	衝突部位(自車前面)
側面衝突基準		車両相互・車両単独	衝突部位(自車側面)
歩行者保護基準		人対車両	衝突部位(自車前面)
ABS(四輪・二輪)		車両相互・車両単独・人対車両	自車行動類型(直進中/減速中+急停止)
ESC・EVSC		車両相互・車両単独・人対車両	路面状態(舗装「凍結、積雪、湿潤」+非舗装) 道路線形(カーブ)
大型AEBS		車両相互(追突)・車両単独(駐車車両)	自車行動類型(直進中)、時間帯(昼)
乗用AEBS	対車両	車両相互(追突)・車両単独(駐車車両)	自車行動類型(直進中)、時間帯(昼)
	対歩行者	人対車両(横断中)	自車行動類型(直進中)、時間帯(昼)
	対自転車	車両相互(追突+出会い頭)	相手車(自転車) 自車行動類型(直進中)、時間帯(昼) 相手車行動類型(直進中)
大型LDWS		車両相互(正面衝突+すれ違い+その他)・ 車両単独(路外逸脱+工作物)・ 人対車両	自車危険認知速度(50km/h超) 衝突地点(自車線以外) 人的要因(発見の遅れ+判断の誤り)
オートライト		車両相互・車両単独・人対車両	時間帯(夜) 自車行動類型(直進中) 自車ライト(消灯中) 人的要因(発見の遅れ)
バックカメラ		車両相互・車両単独・人対車両	自車行動類型(後退中) 人的要因(発見の遅れ)
BSIS		車両相互(左折中、左への進路変更)	相手車(自転車) 人的要因(発見の遅れ+判断の誤り)

調査対象装備と集計条件(基準以外の対策)

装備名		事故類型	主な対象事故条件
乗用LDWS		車両相互(正面衝突+すれ違い+その他)・ 車両単独(路外逸脱+工作物)・ 人対車両	自車危険認知速度(50km/h超) 衝突地点(自車線以外) 自車人的要因(発見遅れ+判断の誤り)
乗用 AEBS	対歩行者、夜間	人対車両(横断中)	自車行動類型(直進中) 時間帯(夜)
	交差点	車両相互(右直)・人対車両	車両相互:自車行動類型(右折中) 人対車両:自車行動類型(右折中+左折中)
高機能前照灯		車両単独・人対車両	自車危険認知速度(20km/h超) 時間帯(夜) 地形(非市街地) 自車行動類型(直進中) 自車ライト(下向き) 自車人的要因(発見の遅れ)
ACPE		車両相互(追突)・ 車両単独(工作物+駐車車両)	自車行動類型(発進時+後退時) 自車行動類型(直進中、自車危険認知速度(30km/h以下)) 自車人的要因(アクセルとブレーキの踏み違い)

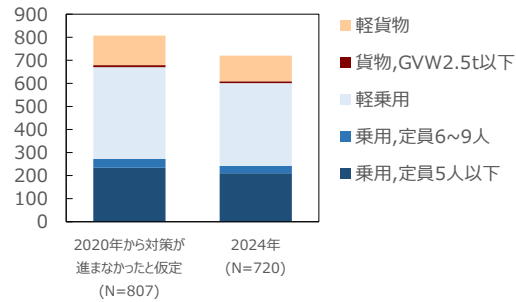
削減効果の算出結果(死者数1)

概要

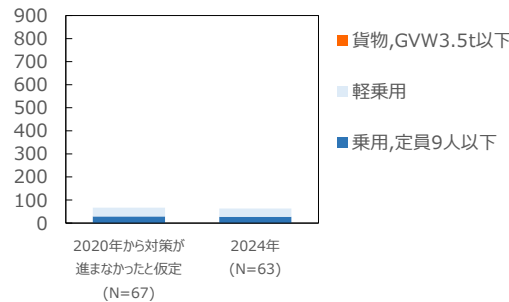
	衝突安全対策			予防安全対策					
	前突	側突	歩行者	ABS	ESC・EVSC	大型AEBS	乗用AEBS		
							対車両	対歩行者	対自転車
死者削減数	87	4	103	1	14	2	7	7	0

詳細

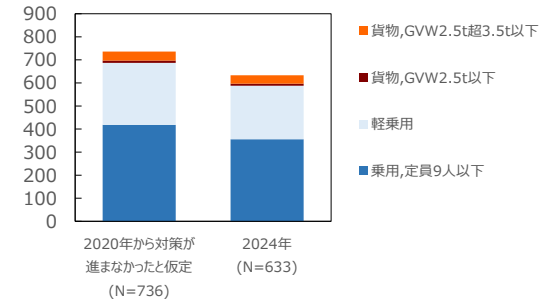
前面衝突基準



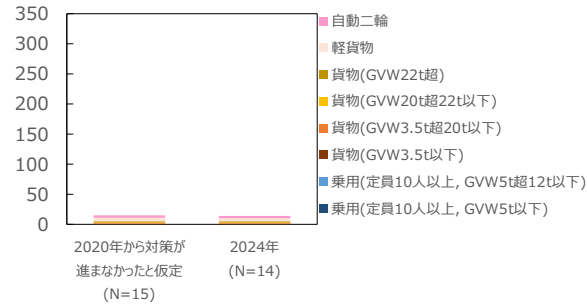
側面衝突基準



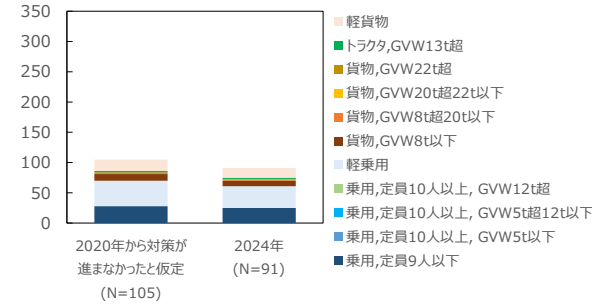
歩行者保護基準



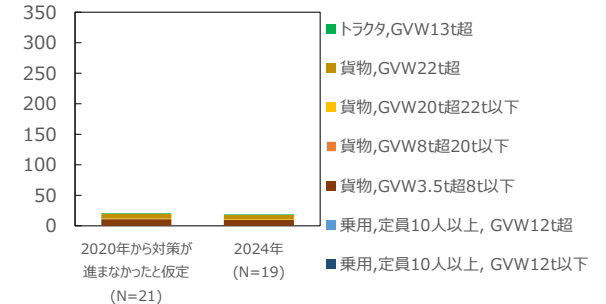
ABS



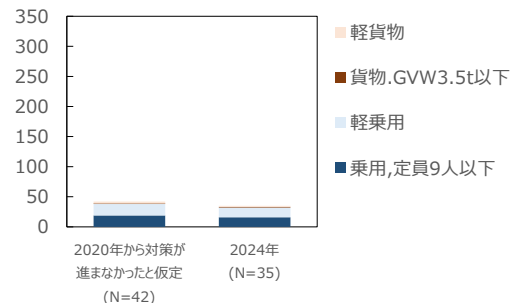
ESC・EVSC



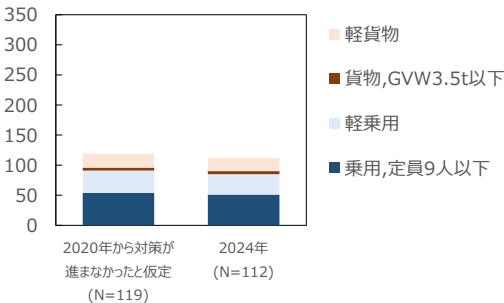
大型AEBS



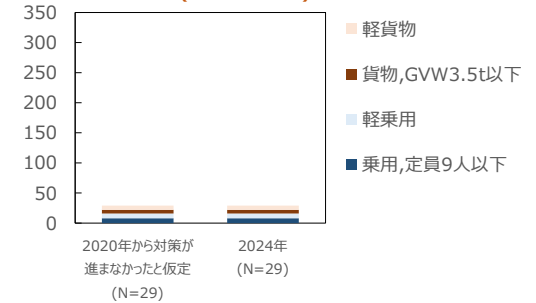
乗用AEBS(対車両)



乗用AEBS(対歩行者)



乗用AEBS(対自転車)



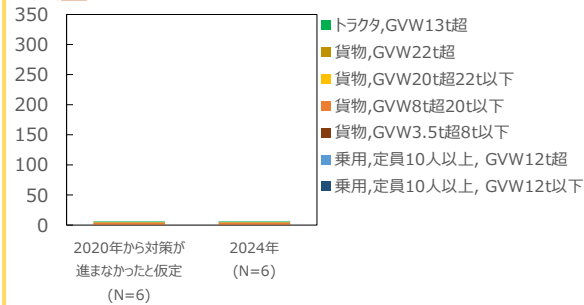
削減効果の算出結果(死者数2)

概要

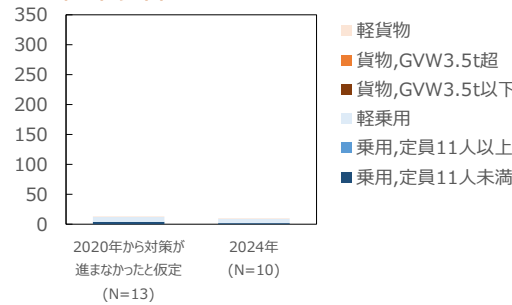
	予防安全対策				基準以外の対策				
	大型LDWS	オートライト	バックカメラ	BSIS	乗用LDWS	乗用AEBS		高機能前照灯	ACPE
						対歩行者夜間	交差点		
死者削減数	0	3	3	3	15	25	1	14	0

詳細

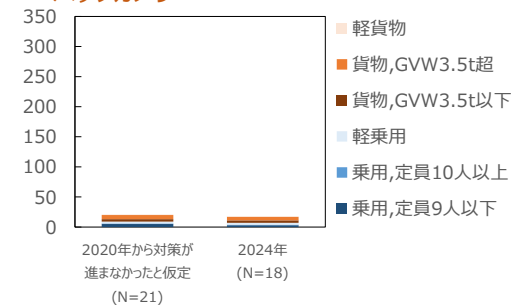
大型LDWS



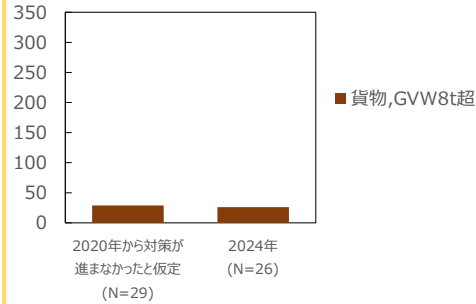
オートライト



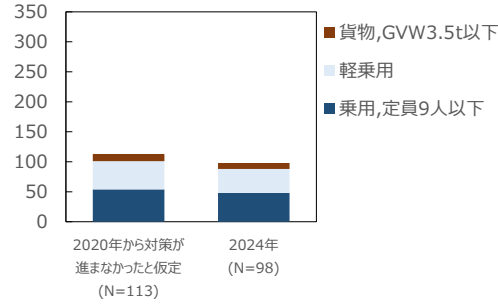
バックカメラ



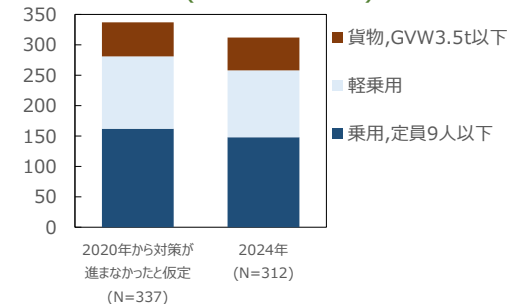
BSIS



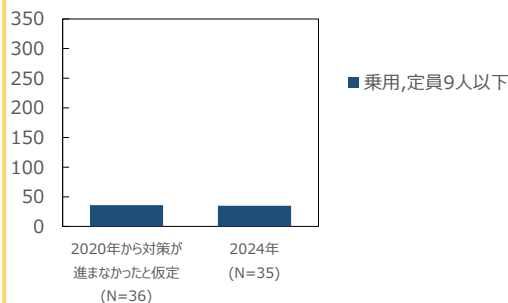
乗用LDWS



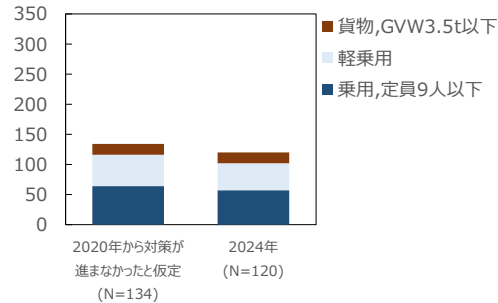
乗用AEBS(対歩行者夜間)



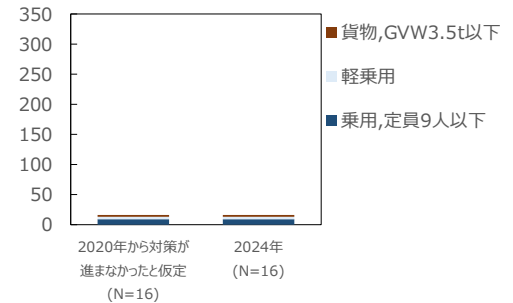
乗用AEBS(交差点)



高機能前照灯



ACPE



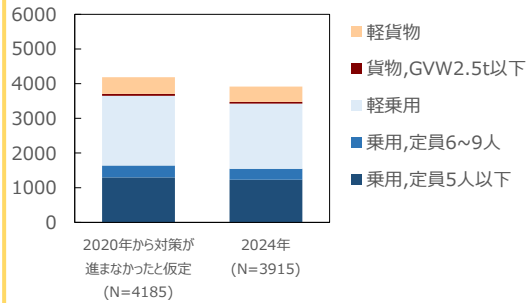
削減効果の算出結果(重傷者数1)

概要

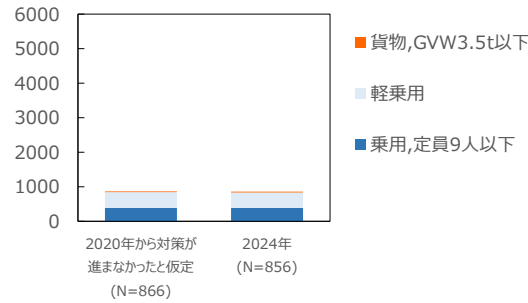
	衝突安全対策			予防安全対策					
	前突	側突	歩行者	ABS	ESC・EVSC	大型AEBS	乗用AEBS		
重傷者削減数	270	10	381	9	66	18	対車両 115	対歩行者 67	対自転車 24

詳細

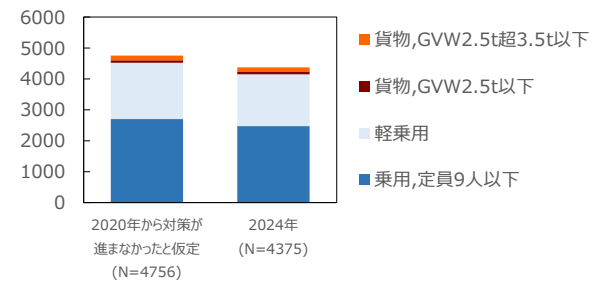
前面衝突基準



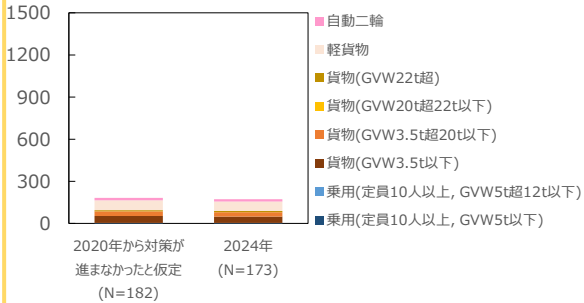
側面衝突基準



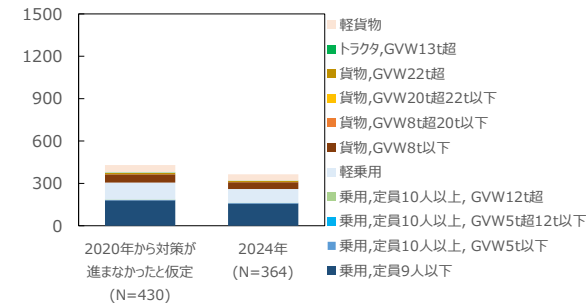
歩行者保護基準



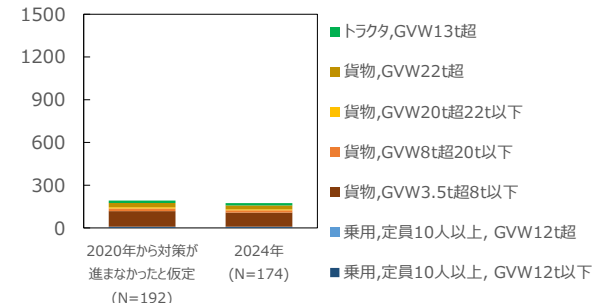
ABS



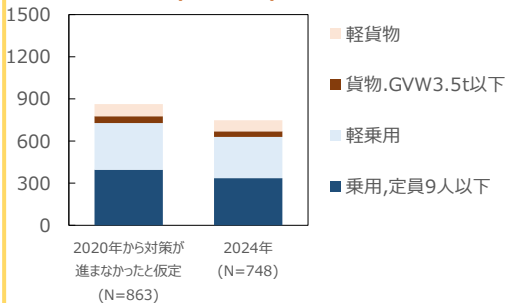
ESC・EVSC



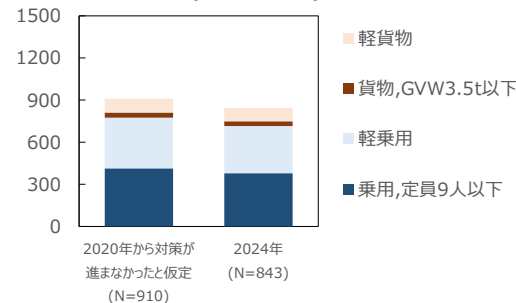
大型AEBS



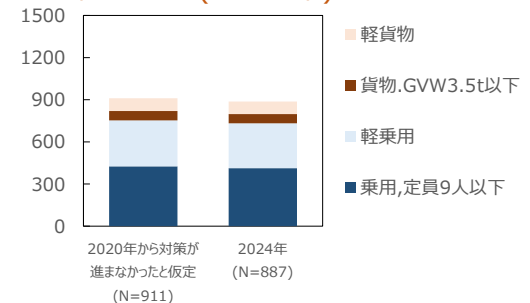
乗用AEBS(対車両)



乗用AEBS(対歩行者)



乗用AEBS(対自転車)



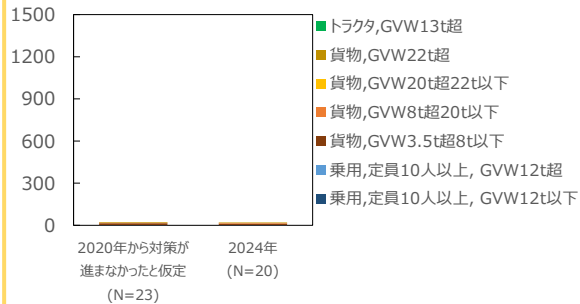
削減効果の算出結果(重傷者数2)

概要

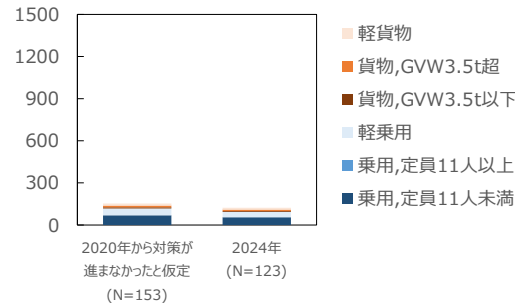
	予防安全対策				基準以外の対策				
	大型LDWS	オートライト	バックカメラ	BSIS	乗用LDWS	乗用AEBS		高機能前照灯	ACPE
						対歩行者夜間	交差点		
重傷者削減数	3	30	73	5	36	64	33	29	6

詳細

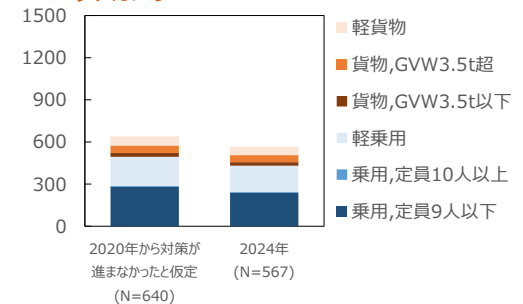
大型LDWS



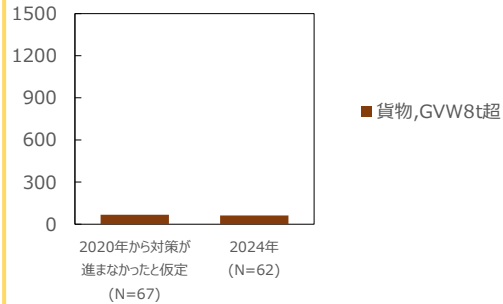
オートライト



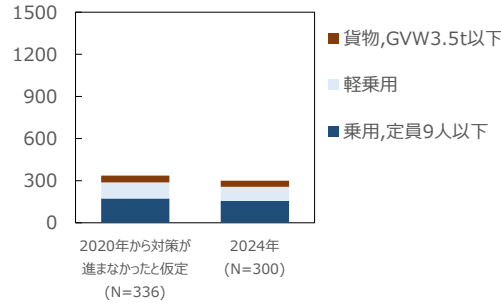
バックカメラ



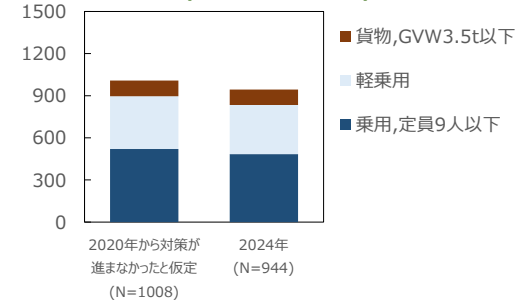
BSIS



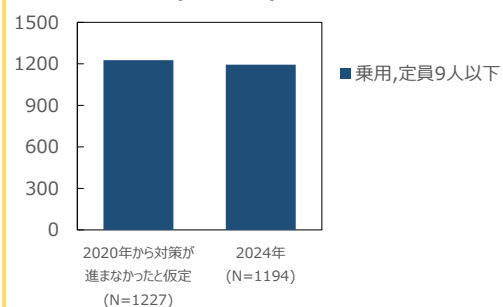
乗用LDWS



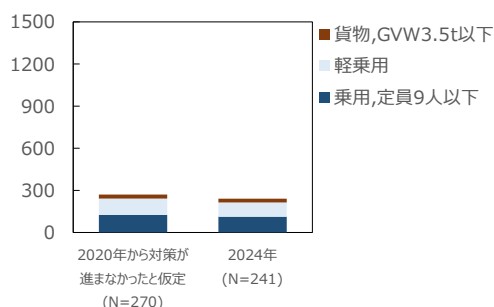
乗用AEBS(対歩行者夜間)



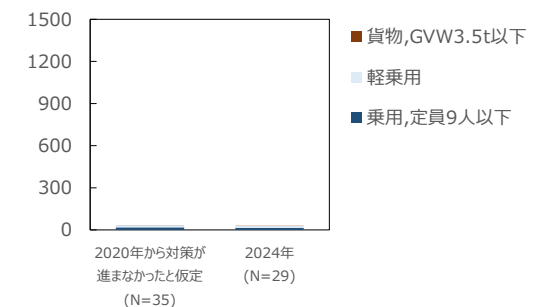
乗用AEBS(交差点)



高機能前照灯



ACPE



まとめ1

まとめ

- 第1回車両安全対策検討会にてご審議頂いた内容に則し、車両安全対策の事故削減効果（2024年の対策別の保有台数構成が2020年と同等であったと仮定した場合の2024年の死者数・重傷者数推計値と、2024年の実際の死者数・重傷者数との差分）を分析した。
- 合計で、死者数289人、重傷者数1239人の削減効果が見込まれた。

分類	装置名	死者削減数	重傷者削減数	
衝突安全対策	前面衝突基準[フルラップ、オフセット]	87	270	
	側面衝突基準	4	10	死者削減数 194
	歩行者保護基準[頭部、脚部]	103	381	重傷者削減数 661
予防安全対策	アンチロックブレーキ[四輪車、二輪車]	1	9	
	横滑り防止装置・車両安定性制御装置	14	66	
	衝突被害軽減ブレーキ[大型車]	2	18	
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対車両]	7	115	
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対歩行者]	7	67	
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対自転車]※	0	24	
	車線逸脱警報装置[大型車]※	0	3	
	オートライト	3	30	
	後退時車両直後確認装置	3	73	死者削減数 40
	側方衝突警報	3	5	重傷者削減数 410
基準以外の対策	車線逸脱警報装置[乗用車]	15	36	
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対歩行者(夜間)]	25	64	
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、交差点]	1	33	
	高機能前照灯	14	29	死者削減数 55
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置※	0	6	重傷者削減数 168
合計		289	1239	

※死者の削減効果は0であるが、事故削減効果は見込まれる。

参考： 年間30日以内死者数 2020年:3416人 2024年:3221人(-195人)
 年間重傷者数 2020年:27775人 2024年:27285人(-490人)

まとめ2

まとめ

- 各対策のマクロ事故データ集計条件の包含関係を比較し、対策の効果が重複して計上される主な部分（前面衝突対策と歩行者保護対策）を精緻化（統合）した。
- 対策間の重複の影響を考慮した結果、車両安全対策により、死者数254人、重傷者数1018人の削減効果が見込まれた。

分類	装置名	死者削減数	重傷者削減数
前面衝突対策	前面衝突基準[フルラップ、オフセット]	88	286
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対車両]		
歩行者保護対策	歩行者保護基準[頭部、脚部]	106	390
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対歩行者]		
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対歩行者(夜間)]		
その他の対策	側面衝突基準	4	10
	アンチロックブレーキ[四輪車、二輪車]	1	9
	横滑り防止装置・車両安定性制御装置	14	66
	衝突被害軽減ブレーキ[大型車]	2	18
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、対自転車]※	0	24
	車線逸脱警報装置[大型車]※	0	3
	オートライト	3	30
	後退時車両直後確認装置	3	73
	側方衝突警報	3	5
	車線逸脱警報装置[乗用車]	15	36
	衝突被害軽減ブレーキ[乗用車、交差点]	1	33
	高機能前照灯	14	29
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置※	0	6
合計		254	1018

※死者の削減効果は0であるが、事故削減効果は見込まれる。

参考：年間30日以内死者数 2020年:3416人 2024年:3221人(-195人)
 年間重傷者数 2020年:27775人 2024年:27285人(-490人)

参考：前面衝突対策，歩行者保護対策における主な集計条件の関係

前面衝突対策

	前面衝突基準	乗用AEBS(対車両)	比較結果
事故類型	車両相互 車両単独	車両相互(追突) 車両相互(駐車車両)	前面衝突に包含
衝突部位	車両前面	限定なし	AEBSの事故形態は衝突部位が前面に限られると考えられるため、前面衝突に包含され则认为。
行動類型	限定なし	直進	前面衝突に包含
対象車種	・乗用(定員9人以下、軽含む) ・貨物(GVW2.5t以下、軽含む)	・乗用(定員9人以下、軽含む) ・貨物(GVW3.5t以下、軽含む)	乗用については、前面衝突と同じ 貨物については、前面衝突よりも広い

歩行者保護対策

	歩行者保護基準	乗用AEBS(対歩行者)	乗用AEBS(対歩行者、夜間)	比較結果
事故類型	人対車両	人対車両(横断中)	人対車両(横断中)	歩行者保護基準に包含
衝突部位	車両前面	限定なし	限定なし	AEBSは限定なしであるが、AEBSでは行動類型を直進としているため、歩行者は車両前面に衝突すると考えられる。そのため衝突部位は歩行者保護基準と同じと考えられる。
時間帯	昼夜	昼	夜	歩行者保護基準に包含
行動類型	限定なし	直進	直進	歩行者保護基準に包含
対象車種	・乗用(定員9人以下、軽含む) ・貨物(GVW3.5t以下、軽除く)	・乗用(定員9人以下、軽含む) ・貨物(GVW3.5t以下、軽含む)	・乗用(定員9人以下、軽含む) ・貨物(GVW3.5t以下、軽含む)	乗用については、歩行者保護基準と同じ 貨物については、歩行者保護基準よりも広い

参考資料 1

基準化された対策の整理状況 1

前面衝突基準

車種	FL非適合/OS非適合	FL混合/OS非適合	FL適合/OS非適合	FL適合/OS混合	FL適合/OS適合
乗用(定員5人以下)	～1994/3	1994/4～1999/3	1999/4～2007/8	2007/9～2009/8	2009/9～
乗用(定員6～9人)	～1997/9	1997/10～1999/6	1999/7～2007/8	2007/9～2009/8	2009/9～
乗用(定員10人)	～1997/9	1997/10～1999/6	1999/7～	－	－
軽乗用	～1994/3	1994/4～2000/6	2000/7～2007/8	2007/9～2009/8	2009/9～
貨物(GVW2.5t以下)	～1997/9	1997/10～1999/6	1999/7～2011/3	2011/4～2016/3	2016/4～
貨物(GVW2.5t超2.8t以下)	～1997/9	1997/10～1999/6	1999/7～	－	－
軽貨物	～1998/9	1998/10～2002/6	2002/7～2011/3	2011/4～2016/3	2016/4～

FL：フルラップ、OS：オフセット

側面衝突基準

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員9人以下)	～1998/9	1998/10～2003/9	2003/10～
軽乗用	～1998/9	1998/10～2003/9	2003/10～
貨物(GVW3.5t以下)	～1998/9	1998/10～2003/9	2003/10～
軽貨物	～1998/9	1998/10～2003/9	2003/10～

歩行者保護基準

車種	H非適合/L非適合	H混合/L非適合	H適合/L非適合	H適合/L混合	H混合/L混合	H適合/L適合
乗用(定員9人以下)	～2005/8	2005/9～2012/8	2012/9～2013/3	2013/4～2018/1	－	2018/2～
軽乗用	～2005/8	2005/9～2012/8	2012/9～2013/3	2013/4～2018/1	－	2018/2～
貨物(GVW2.5t以下)	～2007/8	2007/9～2012/8	2012/9～2013/3	2013/4～2018/1	－	2018/2～
貨物(GVW2.5t超3.5t以下)	～2015/1	－	－	－	2015/2～2019/7	2019/8～
軽貨物	～2007/8	2007/9～2012/8	2012/9～2013/3	2013/4～2018/1	－	2018/2～

H：頭部、L：脚部

基準化された対策の整理状況 2

ABS

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	~2015/8	2015/9~2017/1	2017/2~
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	~2016/1	2016/2~2018/1	2018/2~
貨物(GVW3.5t以下)	~2015/8	2015/9~2017/1	2017/2~
貨物(GVW3.5t超20t以下)	~2016/1	2016/2~2018/1	2018/2~
貨物(GVW20t超22t以下)	~2015/8	2015/9~2018/10	2018/11~
貨物(GVW22t超)	~2014/10	2014/11~2017/8	2017/9~
軽貨物	~2016/1	2016/2~2018/1	2018/2~
自動二輪	~2018/9	2018/10~2021/9	2021/10~

ESC・EVSC

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員9人以下)	~2012/9	2012/10~2014/9	2014/10~
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	~2015/8	2015/9~2017/1	2017/2~
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	~2014/10	2014/11~2017/8	2017/9~
軽乗用	~2014/9	2014/10~2018/1	2018/2~
貨物(GVW8t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW8t超20t以下)	~2018/10	2018/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW20t超22t以下)	~2016/10	2016/11~2018/10	2018/11~
貨物(GVW22t超)	~2014/10	2014/11~2017/8	2017/9~
トラクタ(GVW13t超)	~2014/10	2014/11~2018/8	2018/9~
軽貨物	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~

基準化された対策の整理状況 3

大型AEBS

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	~2014/10	2014/11~2017/8	2017/9~
貨物(GVW3.5超8t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW8t超20t以下)	~2018/10	2018/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW20t超22t以下)	~2016/10	2016/11~2018/10	2018/11~
貨物(GVW22t超)	~2014/10	2014/11~2017/8	2017/9~
トラクタ(GVW13t超)	~2014/10	2014/11~2018/8	2018/9~

乗用AEBS

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員9人以下)	~2021/10	2021/11~2026/8	2026/9~
軽乗用	~2021/10	2021/11~2026/8	2026/9~
貨物(GVW3.5t以下)	~2021/10	2021/11~2026/8	2026/9~
軽貨物	~2021/10	2021/11~2026/8	2026/9~

※2024年(最新集計年)時点の装備状況は、混合車群に含まれる

大型LDWS

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	~2017/10	2017/11~2019/10	2019/11~
貨物(GVW3.5t超8t以下)	~2019/10	2019/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW8t超20t以下)	~2018/10	2018/11~2021/10	2021/11~
貨物(GVW20t超22t以下)	~2018/10	2018/11~2020/10	2020/11~
貨物(GVW22t超)	~2017/10	2017/11~2019/10	2019/11~
トラクタ13t超	~2018/10	2018/11~2020/10	2020/11~

基準化された対策の整理状況 4

オートライト

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員11人未満)	~2020/3	2020/4~2021/9	2021/10~
乗用(定員11人以上)	~2021/3	2021/4~2023/9	2023/10~
軽乗用	~2020/3	2020/4~2021/9	2021/10~
貨物(GVW3.5t以下)	~2020/3	2020/4~2021/9	2021/10~
貨物(GVW3.5t超)	~2021/3	2021/4~2023/9	2023/10~
軽貨物	~2020/3	2020/4~2021/9	2021/10~

バックカメラ

車種	非適合	混合	適合
乗用(定員9人以下)	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~
乗用(定員10人以上)	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~
軽乗用	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~
貨物(GVW3.5t以下)	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~
貨物(GVW3.5t超)	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~
軽貨物	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~

BSIS

車種	非適合	混合	適合
貨物(GVW8t超)	~2022/4	2022/5~2024/4	2024/5~

基準以外の対策の整理状況

調査結果(型式数)

装置	車種	標準装備	オプション装備
乗用LDWS	乗用(定員9人以下)	2170	773
	軽乗用	113	87
	貨物(GVW3.5t以下)	101	97
AEBS(対歩行者、夜間)	乗用(定員9人以下)	1179	75
	軽乗用	69	20
	貨物(GVW3.5t以下)	49	29
乗用AEBS(交差点)	乗用(定員9人以下)	387	54
	軽乗用	-	-
	貨物(GVW3.5t以下)	-	-
高機能前照灯	乗用(定員9人以下)	1337	932
	軽乗用	93	104
	貨物(GVW3.5t以下)	84	94
ACPE	乗用(定員9人以下)	824	372
	軽乗用	113	107
	貨物(GVW3.5t以下)	73	90

*2023年12月末時点に確認できた型式が対象

*乗用AEBS(交差点)の軽乗用と貨物(GVW3.5t以下)は該当車種が少なかったため分析の対象外

*貨物(GVW3.5t以下)に軽貨物を含む

前面衝突基準

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ						安全性指標%			
			非適合車群			適合車群			死亡率		重傷率	
	2020年	2024年	死者数	重傷者数	死傷者数	死者数	重傷者数	死傷者数	非適合	適合	非適合	適合
乗用(定員5人以下)	71.6	83.1	25	78	3975	655	5522	511657	0.63	0.13	1.96	1.08
乗用(定員6~9人)	62.5	75.2	9	37	3077	69	991	134373	0.29	0.05	1.20	0.74
乗用(定員10人)	0.0	0.0	0	3	103	—	—	—	0.00	—	2.91	—
軽乗用	69.6	82.4	7	52	1124	987	8532	412406	0.62	0.24	4.63	2.07
貨物(GVW2.5t以下)	32.9	52.8	10	30	1648	11	91	10205	0.61	0.11	1.82	0.89
貨物(GVW2.5t超2.8t以下)	0.0	0.0	1	17	1152	—	—	—	0.09	—	1.48	—
軽貨物	22.8	39.8	114	382	6553	139	758	31957	1.74	0.43	5.83	2.37

*1：普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合。

*2：衝突安全対策では安全性指標を致死率および重傷率とし、死亡者、重傷者、軽傷者、無傷者の合計に占める死亡者または重傷者の割合で算出。

非適合車群：FL非適合/OS非適合、適合車群：FL適合/OS適合

安全性指標は、2015～2024年の事故データを用いて算出

乗用(定員10人)と貨物(GVW2.5t超2.8t以下)は、適合車群がないため指標が出ていない

削減効果

車種名	死者数			重傷者数		
	2024年死者数	2020年から対策が進まなかった場合の死者数	削減効果	2024年重傷者数	2020年から対策が進まなかった場合の重傷者数	削減効果
乗用(定員5人以下)	210	234	24	1229	1298	69
乗用(定員6~9人)	32	38	6	317	343	26
乗用(定員10人)	2	—	—	24	—	—
軽乗用	359	398	39	1878	2007	129
貨物(GVW2.5t以下)	8	9	1	50	56	6
貨物(GVW2.5t超2.8t以下)	1	—	—	6	—	—
軽貨物	111	128	17	441	481	40

削減効果 = 2020年から対策が進まなかった場合の死者数(重傷者数)－2024年死者数(重傷者数)

－：適合車群がないため分析対象外

側面衝突基準

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ						安全性指標%			
			非適合車群			適合車群			死亡率		重傷率	
	2020年	2024年	死者数	重傷者数	死傷者数	死者数	重傷者数	死傷者数	非適合	適合	非適合	適合
乗用(定員9人以下)	89.4	92.6	36	97	3491	208	2560	181571	1.03	0.11	2.78	1.41
軽乗用	93.0	95.0	12	53	1143	239	3307	114117	1.05	0.21	4.64	2.90
貨物(GVW3.5t以下)	79.4	84.9	2	24	756	18	167	11660	0.26	0.15	3.17	1.43
軽貨物	74.9	81.1	10	83	1477	—	—	—	0.68	—	5.62	—

安全性指標は、2015～2024年の事故データを用いて算出

削減効果

車種名	死者数			重傷者数		
	2024年死者数	2020年から対策が進まなかった場合の死者数	削減効果	2024年重傷者数	2020年から対策が進まなかった場合の重傷者数	削減効果
乗用(定員9人以下)	27	29	2	385	388	3
軽乗用	36	38	2	448	454	6
貨物(GVW3.5t以下)	0	0	0	23	24	1
軽貨物	14	—	—	97	—	—

削減効果 = 2020年から対策が進まなかった場合の死者数(重傷者数)－2024年死者数(重傷者数)
－：基準が適用される車両の事故の抽出が困難なため分析対象外

歩行者保護基準

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ						安全性指標%			
			非適合車群			適合車群			死亡率		重傷率	
	2020年	2024年	死者数	重傷者数	死傷者数	死者数	重傷者数	死傷者数	非適合	適合	非適合	適合
乗用(定員9人以下)	19.5	42.1	745	4630	23134	325	3426	19062	3.22	1.70	20.01	17.97
軽乗用	18.4	38.0	553	3167	13662	220	2037	9316	4.05	2.36	23.18	21.87
貨物(GVW2.5t以下)	20.6	44.0	42	214	1049	23	130	723	4.00	3.18	20.40	17.98
貨物(GVW2.5t超3.5t以下)	9.6	31.7	252	880	4267	34	139	695	5.91	4.89	20.62	20.00
軽貨物	14.5	32.2	369	1578	6561	—	—	—	5.62	—	24.05	—

非適合車群：H非適合/L非適合、適合車群：H適合/L適合

安全性指標は、2015～2024年の事故データを用いて算出(歩行者数)

削減効果

車種名	死者数			重傷者数		
	2024年死者数	2020年から対策が進まなかった場合の死者数	削減効果	2024年重傷者数	2020年から対策が進まなかった場合の重傷者数	削減効果
乗用(定員9人以下)	356	418	62	2474	2702	228
軽乗用	232	269	37	1677	1821	144
貨物(GVW2.5t以下)	9	10	1	74	79	5
貨物(GVW2.5t超3.5t以下)	36	39	3	150	154	4
軽貨物	98	—	—	416	—	—

削減効果 = 2020年から対策が進まなかった場合の死者数(重傷者数)－2024年死者数(重傷者数)

－：基準が適用される車両の事故の抽出が困難なため分析対象外

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	25.5	43.2	1847203	827	589088	225	0.45	0.38
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	13.3	25.4	836094	504	111028	48	0.60	0.43
貨物(GVW3.5t以下)	27.5	47.7	21090816	11066	7152307	2474	0.52	0.35
貨物(GVW3.5t超20t以下)	14.5	29.9	24621185	11798	3957552	1444	0.48	0.36
貨物(GVW20t超22t以下)	11.5	29.5	498666	281	73878	19	0.56	0.26
貨物(GVW22t超)	23.9	43.8	3010748	1419	1023482	317	0.47	0.31
軽貨物	14.5	32.2	62507798	18318	10359188	2271	0.29	0.22
自動二輪	0.0	21.0	16142258	1198	1095497	79	0.07	0.07

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	102	106	4	0	0
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	40	42	2	0	0
貨物(GVW3.5t以下)	1025	1140	115	0	4
貨物(GVW3.5t超20t以下)	1049	1107	58	0	2
貨物(GVW20t超22t以下)	18	22	4	0	0
貨物(GVW22t超)	148	165	17	0	0
軽貨物	1591	1696	105	1	3
自動二輪	124	125	1	0	0

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員9人以下)	41.3	61.4	201606791	8400	144807659	3113	0.04	0.02
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	25.5	43.2	1847203	117	589088	24	0.06	0.04
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	0.0	8.8	989272	51	16065	1	0.05	0.06
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	14.8	25.2	542376	77	85526	12	0.14	0.14
軽乗用	18.4	38.0	147269403	7354	37971847	563	0.05	0.01
貨物(GVW8t以下)	0.0	15.6	53424726	3375	1938936	36	0.06	0.02
貨物(GVW8t超20t以下)	0.0	12.8	3211866	227	97266	0	0.07	0.00
貨物(GVW20t超22t以下)	11.5	29.5	535059	55	73878	5	0.10	0.07
貨物(GVW22t超)	23.9	43.8	3010748	268	1023482	71	0.09	0.07
トラック(GVW13t超)	19.0	41.4	632821	107	195191	16	0.17	0.08
軽貨物	0.0	14.7	72977572	3558	2465397	33	0.05	0.01

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラックを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	945	1096	151	3	22
乗用(定員10人以上, GVW5t以下)	13	13	0	0	0
乗用(定員10人以上, GVW5t超12t以下)	5	5	0	0	0
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	10	10	0	0	0
軽乗用	603	759	156	6	24
貨物(GVW8t以下)	234	284	50	2	10
貨物(GVW8t超20t以下)	13	16	3	0	0
貨物(GVW20t超22t以下)	5	5	0	0	0
貨物(GVW22t超)	32	33	1	0	0
トラック(GVW13t超)	8	10	2	0	1
軽貨物	261	310	49	3	9

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

大型AEBS

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	0.0	14.6	3398341	2324	117630	28	0.68	0.24
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	14.8	25.2	542376	623	85526	62	1.15	0.72
貨物(GVW3.5超8t以下)	0.0	11.9	25949391	44811	671679	407	1.73	0.61
貨物(GVW8t超20t以下)	0.0	12.8	3211866	5750	97266	55	1.79	0.57
貨物(GVW20t超22t以下)	11.5	29.5	535059	1245	73878	64	2.33	0.87
貨物(GVW22t超)	23.9	43.8	3010748	4883	1023482	822	1.62	0.80
トラック(GVW13t超)	19.0	41.4	632821	1672	195191	253	2.64	1.30

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラックを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	240	269	29	0	0
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	69	72	3	0	0
貨物(GVW3.5超8t以下)	3317	3760	443	1	10
貨物(GVW8t超20t以下)	412	481	69	0	3
貨物(GVW20t超22t以下)	82	99	17	0	1
貨物(GVW22t超)	465	548	83	1	3
トラック(GVW13t超)	172	205	33	0	1

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用AEBS(対車両)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		混合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	混合
乗用(定員9人以下)	0.0	19.5	379595671	277220	15774278	2348	0.73	0.15
軽乗用	0.0	16.5	219701175	195739	8442827	1322	0.89	0.16
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	18.9	29345424	41758	1267257	486	1.42	0.38
軽貨物	0.0	14.7	76314750	57834	2465397	692	0.76	0.28

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く
適合車群がないため、混合車群を表示

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	17546	21969	4423	3	59
軽乗用	13809	16751	2942	3	40
貨物(GVW3.5t以下)	2773	3381	608	0	8
軽貨物	4410	4959	549	1	8

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用AEBS(対歩行者)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		混合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	混合
乗用(定員9人以下)	0.0	19.5	379595671	21601	15774278	536	0.06	0.03
軽乗用	0.0	16.5	219701175	14130	8442827	337	0.06	0.04
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	18.9	29345424	1956	1267257	63	0.07	0.05
軽貨物	0.0	14.7	76314750	4348	2465397	93	0.06	0.04

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く
適合車群がないため、混合車群を表示

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	1924	2099	175	3	35
軽乗用	1271	1370	99	3	25
貨物(GVW3.5t以下)	167	177	10	0	2
軽貨物	330	352	22	1	5

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用AEBS(対自転車)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		混合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	混合
乗用(定員9人以下)	0.0	3.3	394088765	41966	1281184	18	0.11	0.01
軽乗用	0.0	2.7	227497497	24546	646505	14	0.11	0.02
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	2.6	30530879	4008	81802	1	0.13	0.01
軽貨物	0.0	2.3	78599494	8198	180653	7	0.10	0.04

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く
適合車群がないため、混合車群を表示

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	3281	3400	119	0	13
軽乗用	2036	2091	55	0	8
貨物(GVW3.5t以下)	343	353	10	0	1
軽貨物	667	679	12	0	2

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

大型LDWS

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	0.0	14.6	3398341	38	117630	1	0.01	0.01
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	3.8	13.6	670206	17	28959	2	0.03	0.07
貨物(GVW3.5t超8t以下)	0.0	11.9	25949391	523	671679	8	0.02	0.01
貨物(GVW8t超20t以下)	0.0	12.8	3211866	100	97266	1	0.03	0.01
貨物(GVW20t超22t以下)	0.9	19.3	583713	22	34200	1	0.04	0.03
貨物(GVW22t超)	8.2	29.3	3834766	210	497252	18	0.05	0.04
トラック(GVW13t超)	1.4	24.8	932345	91	78819	2	0.10	0.03

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラックを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員10人以上, GVW12t以下)	2	3	1	0	0
乗用(定員10人以上, GVW12t超)	4	4	0	0	0
貨物(GVW3.5t超8t以下)	46	49	3	0	2
貨物(GVW8t超20t以下)	11	13	2	0	0
貨物(GVW20t超22t以下)	2	3	1	0	0
貨物(GVW22t超)	22	24	2	0	1
トラック(GVW13t超)	5	8	3	0	0

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

オートライト

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員11人未満)	0.0	19.8	365477600	13775	16460364	192	0.04	0.01
乗用(定員11人以上)	0.0	4.9	2095074	60	11544	0	0.03	0.00
軽乗用	0.0	16.9	210624070	9277	8766237	81	0.04	0.01
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	19.3	27941352	1185	1319562	23	0.04	0.02
貨物(GVW3.5t超)	0.0	5.3	36503099	1359	239387	3	0.04	0.01
軽貨物	0.0	14.9	73832067	2030	2548592	32	0.03	0.01

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員11人未満)	781	1022	241	2	14
乗用(定員11人以上)	4	4	0	0	0
軽乗用	524	696	172	1	11
貨物(GVW3.5t以下)	60	77	17	0	2
貨物(GVW3.5t超)	88	101	13	0	1
軽貨物	123	145	22	0	2

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

バックカメラ

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
乗用(定員9人以下)	0.0	4.3	383443244	98183	1663940	41	0.26	0.02
乗用(定員10人以上)	0.0	2.5	4344622	1431	11395	0	0.33	0.00
軽乗用	0.0	3.4	221773420	45311	834247	20	0.20	0.02
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	3.5	29667637	8340	108578	6	0.28	0.06
貨物(GVW3.5t超)	0.0	3.0	37153966	11057	116977	6	0.30	0.05
軽貨物	0.0	3.0	76932524	15152	235192	5	0.20	0.02

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	7120	8330	1210	2	42
乗用(定員10人以上)	129	141	12	0	0
軽乗用	3725	4185	460	0	21
貨物(GVW3.5t以下)	673	745	72	0	3
貨物(GVW3.5t超)	934	994	60	1	3
軽貨物	1315	1410	95	0	4

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非適合車群		適合車群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非適合	適合
貨物(GVW8t超)	0.0	3.5	9924626	3118	37846	2	0.31	0.05

※普及率は、各基準の継続生産車適用開始時期以降の初度登録年月の車両（適合車群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値
貨物はトラクタを除く

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
貨物(GVW8t超)	275	298	23	3	5

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用LDWS

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非装備群		装備群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非装備	装備
乗用(定員9人以下)	15.8	30.4	269648161	4543	57761515	523	0.02	0.01
軽乗用	4.8	15.7	185775886	2956	13990450	71	0.02	0.01
貨物(GVW3.5t以下)	19.1	32.4	19713500	489	4857738	47	0.02	0.01

※普及率は、LDWS又はLDPSが標準装備となる車両型式の車両（装備群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	434	475	41	6	17
軽乗用	229	264	35	7	15
貨物(GVW3.5t以下)	98	105	7	2	4

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用AEBS(対歩行者、夜間)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非装備群		装備群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非装備	装備
乗用(定員9人以下)	6.1	18.9	360417390	16186	27921197	663	0.04	0.02
軽乗用	1.0	9.9	218144443	10520	6879972	160	0.05	0.02
貨物(GVW3.5t以下)	1.1	4.6	107325783	3364	1688257	47	0.03	0.03

※普及率は、装置が標準装備となる車両型式の車両（装備群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	1442	1547	105	14	36
軽乗用	926	993	67	9	26
貨物(GVW3.5t以下)	303	305	2	2	2

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

乗用AEBS(交差点)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非装備群		装備群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非装備	装備
乗用(定員9人以下)	0.0	5.6	387743360	100028	5012008	719	0.26	0.14
軽乗用	0.0	—	—	—	—	—	—	—
貨物(GVW3.5t以下)	0.0	—	—	—	—	—	—	—

※普及率は、装置が標準装備となる車両型式の車両（装備群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	8330	8570	240	1	33
軽乗用	4966	—	—	—	—
貨物(GVW3.5t以下)	1639	—	—	—	—

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)
軽乗用、貨物(GVW3.5t以下)は該当車種が少なかったため分析対象外

高機能前照灯

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非装備群		装備群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非装備	装備
乗用(定員9人以下)	9.8	18.0	307466280	4206	34234598	214	0.01	0.01
軽乗用	2.1	10.3	192604770	3710	8262536	56	0.02	0.01
貨物(GVW3.5t以下)	3.7	6.0	101553176	1119	3411281	29	0.01	0.01

※普及率は、装置が標準装備となる車両型式の車両（装備群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	326	364	38	7	13
軽乗用	269	309	40	7	15
貨物(GVW3.5t以下)	79	81	2	0	1

※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

普及率、安全性指標

車種名	普及率%		実データ				安全性指標	
			非装備群		装備群		保有台数千台あたり事故件数	
	2020年	2024年	保有台数	事故件数	保有台数	事故件数	非装備	装備
乗用(定員9人以下)	8.0	18.3	303137678	9664	32649377	452	0.03	0.01
軽乗用	9.4	18.3	164211158	6323	21649367	329	0.04	0.02
貨物(GVW3.5t以下)	0.3	3.3	99188948	2292	1062591	19	0.02	0.02

※普及率は、装置が標準装備となる車両型式の車両（装備群）が保有台数に占める割合
予防安全対策では安全性指標を保有台数あたりの事故件数とし、事故件数と当該車両の保有台数から算出
実データは2015年～2024年合計値

削減効果

車種名	2024年事故件数	2020年から対策が進まなかった 場合の事故件数	削減効果		
			事故件数	30日死者数	重傷者数
乗用(定員9人以下)	732	818	86	0	3
軽乗用	482	555	73	0	3
貨物(GVW3.5t以下)	165	165	0	0	0

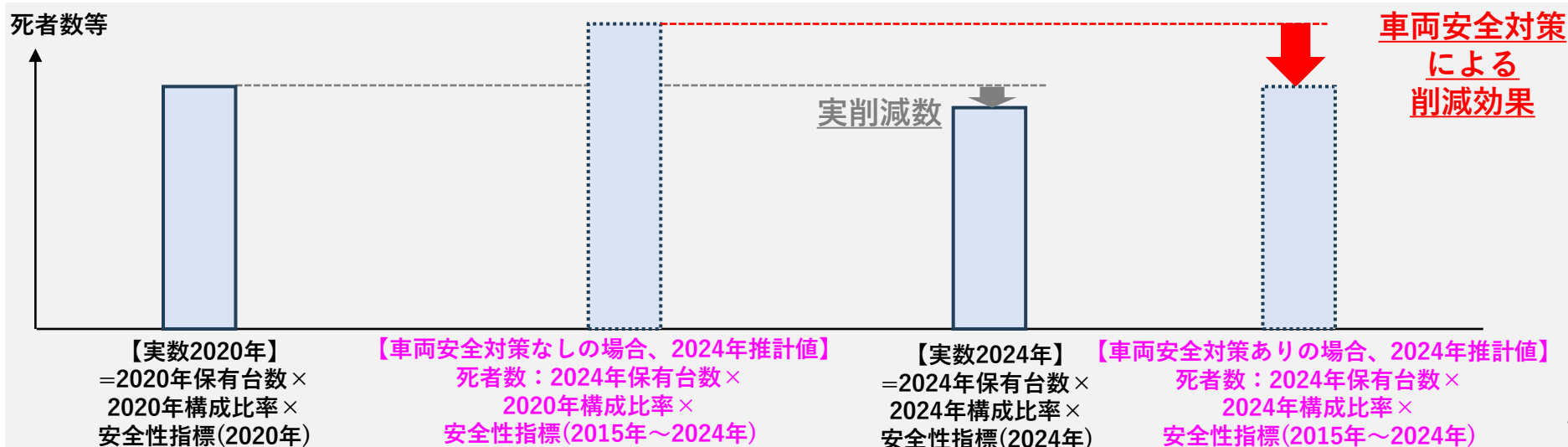
※事故件数削減効果＝2020年から対策が進まなかった場合の事故件数－2024年事故件数
死者数(重傷者数)削減効果＝事故件数削減効果*事故件数あたりの死者数(重傷者数)

参考：事後評価における削減効果の算出方法イメージ

出典：
令和6年度第3回
車両安全対策検討会

推計した削減効果が実際の削減数よりも大きい理由

- 本推計では、「2020年から車両安全対策を行わなかった場合の2024年の死者数等（推計値）」と「2024年の死者数等（推計値）」の差分を削減効果としている。
- 前者は、保有台数（2024年）×保有台数構成比率（2020年）×安全性指標（2015年から2024年）で算出し、
後者は、保有台数（2024年）×保有台数構成比率（2024年）×安全性指標（2015年から2024年）で算出することにより、交通量や保有台数の変化、安全性指標のばらつきの影響を排除し、車両安全対策（基準に適合する車両の全保有台数に占める割合の増加）のみの効果を推計したものとなっている。
- 一方、実際の死者数等の削減数は、保有台数や社会情勢の変化など、車両安全対策以外の要因を多く含む。コロナ禍であった2020年は、交通量が少なかった等の理由により、平年に比べて安全性指標も小さかったと考えられることから、「2020年の実際の死者数等」よりも「2020年から車両安全対策を行わなかった場合の2024年の死者数等（推計値）」が大きくなった結果、実際の削減数よりも推計した削減効果が大きな数値となったと考えられる。



参考資料 2

死者数(24時間以内)の推移(2020年以降)

